(大正八年三月九日第三種郵便物認可)

十九日夕刊

磐城時報

福島縣石城郡平町鍛冶町十四
發行人 岡田弘威
印刷人 岡田弘威
福島縣石城郡平町鍛冶町十四
印刷所 磐城時報社
福島縣石城郡平町字町十五
發行所 磐城時報社
一部金貳錢 一ケ月金參拾錢
廣告料一行ヶ四字詰金五十錢
▲日刊(毎晩、祭日)休刊

縣民の努力如何で 小名濱の運命は決す

今の處樂觀は許されぬ

◆……縣當局の意響

小名濱商港大計劃が內務省明年度に於ては港灣修築補助七十港灣の中から除外されてゐるといふので斯くてはらじと縣當局でも少なからず狼狽してゐる模樣であるが、縣當局の意響は大体次の如くであるらしい、即ち、

小名濱は元々土木局が銚子、塩釜間の商港として重要港灣の內に入れてあるので過日傳へられたやうな意味で除外されるやうなことは全くない、併し未だ省議で決定したものでないので大藏省明年度歲入豫算が意外の減少に依つて各省とも緊縮するの餘儀なくされるやうなことあれば或は今後除外されないとも限らない、實際今樂觀は許さない、寧ろ縣民は萬難を排しても本港修築の實現を期する熱度を高むればなにもないものでないその爲め內務省は勿論である が關係がある商工、農林兩省及び豫算關係の大藏省等即ち政府筋に運動するは勿論淺野王の寄附などは當にせずとも半額は國庫の補助があることに規程されて居るのであるから負債をなしても實施するといふ意氣込みが必要である、修築さへ完成すれば船舶繫留所としても又埋立使用料としてもその他輸出料としても現在僅の船舶から一躍大阪地方までも擴張することになり直接間接縣の受ける利益は莫大なものである、要するに縣民の態度如何に依つて決するものと思ふて居る。云々。

賃貸價格調査員選擧

平穩を豫想さる

廣報—土地賃貸價格調査委員選擧は愈々今日ともあと一週間目の目前に迫つたが既報の如く當選後の責任を重大視し所謂負荷の重きに堪へずとして立候補を躊躇するものか石城郡の如き未だ殆ど一名の立候補を見ず前途の形勢捕捉すべからざるものあり中には從來種々の例に鑑み或は期日間際に於て各區長等の寄擧は期日間際に於て各區長等の寄げをしたいと四倉署に陳情した事實があるので、下落する際に高價で米を買入れとは東京方面の人と言ひ乍ら何か危險が潜れたのではないかと平穀物の小賣商人は米の買入れに困り米を手離しつゝあるので同地方白米一升の小賣相場一錢の値上落の兆が見えるので農民はドシドシ持米を手離しつゝあるが最近四倉、大浦方面で三十圓內外の高價で米を買入れる者が現はれたので農民は何れも競つて持

米を殊更らに高く買ふ者現はる

平穀檢査所と四倉署で調査し 近く農民に警告

平穀物檢査所の調査によれば現在の地方在米高は割合に豐富で先月末には二十九圓八十錢位であつた米價が現在では二十七圓八十錢內外に下落し今後益々下落の兆が見えるので農民はドシ持米を手離しつゝあるが最近四倉、大浦方面で三十圓內外の高價で米を買入れる者が現はれたので農民は何れも競つて持米を手離しつゝあるので同地方の小賣商人は米の買入れに困り白米一升の小賣相場一錢の値上げをしたいと四倉署に陳情した事實があるので、下落する際に事實は東京方面の人と言ひ乍ら何か危險が潜して縣養蠶同業組合等で主唱し面の人と言ひ乍ら何か危險が潜んでゐるのではないかと平穀物檢査所で四倉署と協力取調べた處、三十圓で買ふのは手形等により掛買をするらしく後になつて現金が取れぬやうな事もないとは限らぬので近く農民に警告を發する事になつた。

繭の共同出荷に遺憾の點がある

養蠶組合關係幹部が 二箇所で研究會

繭の共同出荷は繭取引の改善、共同經營の基礎を確實にする事技術及經營の改善、生產費の節約等の點で非常に利益があるとして縣養蠶同業組合等で主唱し本年から之が實行を奬勵し相當効果を收め得たが、而も本年は最初の試みであつたゝの多少遺憾の點があつたので之の點を改善し共同取引を理想的なものに一度いといふので濱三郡養蠶同業組合の幹部及び桑園改良指導員等は廿二日午後一時から植田町繭市場、廿三日は久之濱町繭市場、廿四日午前七時二十五分永眠した、葬儀は二十一日午後二時豐間村自宅出棺淨應寺に於て佛式により營む由である。

▲養蠶講習會

石城郡養蠶同業組合主催の養蠶講習會は二十日植田繭市場に開き縣蠶業試驗場富岡衛氏の夏秋蠶飼育及桑葉に關する講演がある。

▲赤井青年視察

赤井村大字赤井青年團員約五十名は村長等が當選する事となり選擧界の攪亂を目的とする野心家等の立候補は見ないものと豫想されてゐる。

東京三越吳服店 初めて平町に來る

標準相場を示したいと 宣傳の意味で乘り込む

東洋の吳服店と稱されてゐる東京三越吳服店では從來から平町を地方に通信販賣を行つてゐたそ の得意客に對する謝禮の意味と又東京三越を紹介する目的で來る二十六日、二十七日の兩日平町元郡役所會議室で嘗て試みた事のなかつた出張販賣を開催する事になつた、三越吳服店は織物其他凡て生產地並に三井物產會社と特約してゐる關係で特價品を提供し得る能力を有してゐるため今度持つて來る八噸車三臺の商品は凡て市價の二三割方の安値を示してゐるので見た人は驚くだらうと主催者側で語つてゐる、同店の出張賣出しは、現在の市價が不平均であるから標準相場を示したいといふ点に重きをおき寧ろ營利を離れた催ほしであるため、莫大な宣傳費を投じて乘込む方針であるといふから開催中は定めし盛況を呈するであらうと案せられてゐる

視察團員募集

石城教育部會では本年度教育視察員を募集中であるが視察地は九月中七日の豫定で北海道地方に赴かしめる豫定で定員は三名旅費は一人につき五十圓を給する筈で、希望者は平第一小學校內石城教育部會宛申込むべしと

▲成田技手講話

石城郡養蠶同業組合成田技手は二十三日磐崎小學校、二十四日內郷村役場、二十九日勿來小學校で養蠶に關する講話をなす。

警察署前の男が泥棒

平町土橋通り警察署前果物屋鈴木喜太郎(二五)は數回に亘つて材木町バナナ屋、三丁目高木屋等からバナナ及び現金八十圓等を盜んで賣つてゐた事發覺十九日朝平署に捕はれ取調中であるが余罪頗る多い見込みである。

▲鈴木氏母堂逝く

平町磐城經濟新報社鈴木昌雄氏母堂ツル子刀自は永らく病氣中の處十九日午前七時二十五分永眠した、葬儀は二十一日午後二時豐間村自宅出棺淨應寺に於て佛式により營む由である。

株式會社平銀行 第六拾貳期營業報告

貸借對照表

資產之部

拂込未濟資本金 七四〇、〇〇〇・〇〇〇
貸付及貸越金 四、一四七、三〇一・六八〇
割引及荷爲替手形 一三六、八〇四・〇七〇
他店へ貸 一六九、八七五・五七〇
コールローン 一〇、〇〇〇・〇〇〇
有價證券及諸株式 七三、八八一・二五〇
營業用土地建物什器 五六、六六七・一七〇
所有動產不動產 七〇、四七六・七九〇
預ケ金及現金有高 二三〇、六〇七・〇九〇
合計 六、二九〇、六二三・六二〇

負債之部

資本金 一、五〇〇、〇〇〇・〇〇〇
諸積立金 四九七、五五〇・〇〇〇
諸預リ金 三、七六二、一九三・五九〇
他店ヨリ借 六七、九九九・九五〇
コールマネー 三〇〇、〇〇〇・〇〇〇
第二種所得稅資本利子稅 一、一七八・九四〇
未拂配當金 四六二・〇六〇
未拂利息及未經過割引料 六二・〇二〇
當期純益金 七六、七一〇・〇六〇
合計 八三、九〇七・〇〇〇
六、二九〇、六二三・六二〇

利益金勘定

金八萬參千九百七圓也 當期純益金
之ヲ處分スルコト左ノ如シ
金貳萬參千圓也諸積立金
金參千圓也重役賞與金
金貳萬八千貳百圓也
(年七分五厘配當金)
金貳萬九千七百七圓也 後期繰越金

右之通リ候也

昭和貳年七月

株式會社平銀行

專務取締役 山崎興三郎
頭取 三
常務取締役 木村清治
取締役 堀江正直
取締役 高岡唯一郎
取締役 白井博之
常任監査役 新田善次郎
監査役 安島重三郎
監査役 吉田禮次郎

追而監査役全員滿期改選ノ處孰レモ再選重任ニ決セリ

東京株式清算取引高低表

（東株ハ當中先限他株ハ先限ノミ）

◎第一部

白煉	四四一	郵船	六八五	同新
日セ	四八七	同新	二	新
浅野	一四二	富紡	二一二	同新
同新	四六六	同新	二三二八	鐘紡
		東株（當）	一二四三	同新
		（中）	八八五	日糖
		（先）	寄付止	
		同新（當）		
		（中）		
		（先）		

◎第二部

磐セ	一三一	麦酒	一三六七	同新
久原	六七九	鑛	熱帶	
同新	三一三	日石	六〇〇	三二一

◎第三部

自動	四四八	樺太	五二〇	
同新	一一三	日魯	一二三〇	
富紙	六九〇	同新	一一〇五	
同新	三六八	日粉	九一八	

短期前場

寄付	高値	安値	引値	
塩水	五〇九	五一四	五〇六	五一四
久原	四八一	四九〇	四七八	四八八
新淺	三一	三一〇	三〇六	三一八
日石	四八三	四八三	四六七	四七九
新鐘	一三五	一三四六	一三三一	一三四三
東	一三七三	一三九四	一三六七	一三八九

東京商品取引

（七月十九日前場）

◎期米

六限	三五六二	三六二〇	三六一九	七限	三五六一	三六一五	三六一七
八限	三五六一	三六一九	三六一九	九限	三五六一	三六一六	三六一六
十限	三五六一	三六一九	三六一九	十一限	三五六二	三六一〇	三六一〇
十二限	三五六二	三六一九	三六一九	一節	三五六二	三六一九	三六一七
二節	三五六二	三六一六	三六一六	三節	三五六九	三六一六	三六一七
四節	三五六二	三六一九	三六一〇	五節	三五六二	三六一九	三六一〇
六節	三五六三	三六一九	三六一九	七節	三五六二	三六一八	三六一九
八節	三五六二	三六一八	三六一四				

◎綿糸

一節	二三四七	二三四七	二三四六	二節	二三四七	二三四七	二三四六
三節	四節						
七限	二三六〇	二三七四	二三六七	八限	二三六八	二三九八	二三九九
九限	二三五一	二三五〇	二三四〇	十限	二三三六	二三四五	二三四三
十二限	二三四六	二三四九	二三五〇	二三四六	一限	二三七一	二三七四

◎生糸

一節	二節						
七限	一三九九	一三九七	一三九八	一三九八	八限	一三九七	—
九限	一四〇六	一四〇〇	—	一三九七	十限	一四〇一	一四〇〇
十二限	一四〇二	一四〇一	一四〇〇	一四〇〇	十二限	一四〇二	一四〇一

營業所新設紀念

平四倉間乘合自動車割引

今般平町二丁目平銀行前に營業所新設記念として當新設營業所より御乗車の方に限り

四倉迄片道 金貳拾錢

平町（電話二三〇番）

尼子自動車部

金牌受領　印半天專門　優秀品の証明

草野染工場　磐城平町　電話三四八番

◎徒弟入用（徒弟契約に付しては年明きに際し有利な御相談申上候）

東京の三越來る

七月二十六日・二十七日・二十八日（午前八時半より午后五時半まで）

平町南町元郡會議事堂に於て

呉服・太物・雜貨・洋品・倉糧品・其他特價品陳列會

毎々格別の御引立てを辱うし有難く御禮申上ます

今般右陳列會を催し商品を豊富に取揃へて即賣も致します

何卒御來觀の程を願上げます

三越呉服店

内科・外科・耳鼻咽喉科・花柳病科

高久病院

院長　高久忠

平町　電話一三五

驚いた!!!

こうまで安いとは

―加納活版所の印刷物!!

神戸海上運送火災保險會社平代理店

共保生命保險株式會社磐東代理店

◎貸家

五丁目勤人向	四・五〇	仲間町勤人向	八・〇〇
柳町同	六・五〇	柳町同	五・五〇
鷹之門同	六・〇〇	長橋町同	五・五〇
小島同	八・五〇	北白銀商店向	七・〇〇

皐月を見ながら昭和園へ御遊びに被入して下さい

平町白銀町（電話三二番）

加藤丈夫營業所

◎簡易の金融―誠意と堅實　◎趣味の貯蓄―貯蓄と共榮

▲絶へず會員を募ります　▲何時でも御申込下さ

大藏省免許

磐城無盡商會

本店植田町本丁　支店平町中丁

母ツル儀永々病氣療養の處藥石効なく七月十九日午前七時廿五分永眠致候間此段御通知申上候

追而葬送の儀は七月廿一日午后二時自宅出棺

淨應寺に於て佛葬相營可申候

昭和二年七月十九日

豊間村

男　鈴木昌雄

外　親戚一同

階上食堂

同伴席の設備あり

平町縣社通り

美味で評判の

イワキ食堂

電話四六〇番

◎親切第一

營業科目

電氣機械器具

電線類絶縁料

通信機械器具

其他器具修繕

モートルスル

日立芝浦製

◎確實敏捷

平町南町磐越銀行向ひ

三瓶電機商店

電話呼七三八番

第十二期決算公告

貸借對照表

資産之部

掛金担保貸金	九、〇四三〇五〇
不動産擔保貸金	四、八四七〇三六〇
未收無盡掛金	六一、九一〇〇五五〇
所有不動産	四、九九一〇八一〇
有價證券	二、八九五〇二〇〇
假拂金	一、一九五〇二一〇
無盡集會所加入金	三〇〇五〇〇
營業用什器	二、九一一〇六一〇
銀行預ケ金	五、八八五〇九四〇
振替貯金	八九三〇三三〇
金銀	一、七六八〇四〇
合計	九六、三八九〇六二〇

負債之部

無盡給付資金	五四、八四〇〇七一〇
準備積立金	二、一〇〇〇〇〇〇
建築積立金	二、一〇〇〇〇〇〇
社員退職給與基金	三〇〇〇〇〇〇
資本金	一〇、〇〇〇〇〇〇
社員保證積立金	四一九〇三四〇
未拂無盡給付金	一〇、一二〇〇〇〇
未拂入札差金	五、二四七〇二一〇
未拂解約返戻金	六、二三四〇〇五〇
假受金	一、五〇〇〇五五〇
日掛假受金	一、六六三〇一七〇
當期純益金	一、六七〇〇五七〇
合計	九六、三八九〇六二〇

利益金處分

金四百圓	準備積立金
金三百圓	建築積立金
金百五十圓	社員退職給與基金
金百五十圓	社員賞與金
金五百圓（年一割）	配當金
金百七十圓五十七錢	後期繰越金

昭和二年六月卅日

本社　福島縣植田町本丁

支社　福島縣平町中町

磐城無盡商會

會長　小宅嘉久治

相談役　大平菊次郎　小宅嘉恵藏

顧問　古川傳一　端山正男　草野順平

當期末現在無盡給付契約高　一、五六七〇九〇六圓

當期末滿會無盡完了高　七四九〇四八圓

合計　二、三六、九五四圓